

2016年3月30日

『フォーブス』誌の「全米ベスト・エンプロイヤー2016」で中堅企業部門第10位に

ドテラ社は、ビジネス誌『フォーブス』が発表した「全米ベスト・エンプロイヤー(最も優れた雇用者)」ランキングにおいて、中堅企業部門で上位250社中10位に、消費財製造部門では1位にランクインした。これによって、ドテラ社が受けてきた数々の受賞歴に、新たな名誉ある賞が加わった。

このランキングは、全米の大規模・中規模の企業および団体に働く従業員3万人に対し、『フォーブス』誌が実施した独自の調査に基づいて選ばれたもの。総従業員数が1,000人を超える、米国内のあらゆる業種の企業が対象となった。評価において最も重視された基準は「自分の勤務先を他人にも薦められるかどうか」。次に、「同業他社における(勤務先として)良い企業、悪い企業」を重視している。

「ドテラ社が急成長を遂げられたのは、IPCや従業員の皆さんのおかげです。私たちは家族のように一心同体。今回『フォーブス』から表彰されたのも、当社がビジネスのあらゆる側面においてよりよい環境づくりに努めてきた成果として、ありがたく受け止めています」と、ドテラ社CEO デビッド・スターリングは語る。「ここに選ばれたのは、社員の皆さんが会社に対し、やる気や安心感、理解、やりがいを感じてくれているからでしょう。それはまさに、当社が目指してきたことです。会社の成長とともに、当社独自のカルチャーも育て続けていきます。情熱あふれるすぐれた従業員には、正当な報酬を与えて勤め続けてもらい、それによって日々ドテラ製品を伝えてくれるIPCの皆さんが増え続け、当社はますます発展していくのです」

ドテラ社は、CPTGという高品質なエッセンシャルオイルや、関連の化粧品、日用雑貨、サプリメント等において世界をリードする企業。原料調達、検査、製造、流通販売まで一貫して手がけ、全世界の従業員数は2,000人を超える。進行中の本社新設事業は、昨年第2期工事を完了。最新型の倉庫と第2オフィスタワーが加わり、敷地総面積は40万フィート(約37,000平方メートル)近くにまで拡大した。また、メキシコとシンガポールにも新たに支社がオープン。今夏にはカナダへの進出も予定している。

ドテラ社について

ドテラ・インターナショナル LLCは、高品質なエッセンシャルオイルの世界において世界をリードする企業である。CPTGという独自の品質基準を設けて、原料調達から検査、製造まで手がけ、全世界に200万人を超えるディストリビューター(独立プロダクトコンサルタント:IPC)のネットワークを通じて流通販売を行っている。また、ドテラ社は「コ・インパクトソーシング[®]」という事業方針を打ち出し、原料を生産する農家や蒸留業者に正当な報酬を支払い、地域経済の強化と、健全で安定したサプライチェーンの構築を図っている。シングルエッセンシャルオイルおよびオリジナルのブレンドオイルを主力商品群としつつ、エッセンシャルオイルを配合した化粧品、日用雑貨、サプリメントなども提供している。

『フォーブス』誌による「全米ベスト・エンプロイヤー」選出方法

今年で2回目となった『フォーブス』誌の「全米ベスト・エンプロイヤー」ランキングは、総従業員数1,000人以上の企業に勤める3万人以上を対象に、オンライン調査によって選出された。調査は、世界的な情報調査企業と提携し、消費者の見解や行動をより深く分析するため、技術と実績に裏打ちされた信頼性の高いサンプリング手法を用いて実施された。幅広い対象者にリーチするために何千ものソースを利用し、米国の被雇用者群と性別、年齢、出身地、民族の構成比が同一になるよう調査対象者を抽出。対象者には、自分の勤務先と同業他社についてランク付けを行うよう依頼し、任意で回答を得た。

『フォーブス』公式サイト(英語サイト)

<http://www.forbes.com/sites/niallmccarthy/2016/04/15/americas-best-medium-sized-employers/#5558322e7b85>